

FEPACK 使用の手引 (version 0.0)

石岡 圭一 (95/05/25)

1 概要

これは、データの読み書きに関するサブルーチンパッケージであり、FHPACK および FLPACK を組み合わせることによって、使用する機種によらず互換性を保ったファイルを作成および操作することを可能にする。

このパッケージは次のような仕様にもとづいて設計されている。

1. 文字の内部表現は ASCII 形式、実数の内部表現は IEEE 形式を用いる。

以下のサブルーチン群を使用するにあたっては次の点に注意すること。

- FEPACK のサブルーチンは入出力のみしか行わない。従って、補助的な操作（ファイルのオープンなど）は FHPACK のサブルーチンによって行うこと。
- 入出力装置番号などについての制限は FHPACK に従うこと。

2 サブルーチンのリスト

FEPUTC(IU,ND,CD)	文字列を書き込む。
FEGETC(IU,ND,CD)	文字列を読み込む。
FEPUTI(IU,ND,ID)	整数を書き込む。
FEGETI(IU,ND,ID)	整数を読み込む。
FEPUTR(IU,ND,RD)	実数 (単精度) を書き込む。
FEGETR(IU,ND,RD)	実数 (単精度) を読み込む。
FEPUTD(IU,ND,DD)	実数 (倍精度) を書き込む。
FEGETD(IU,ND,DD)	実数 (倍精度) を読み込む。
FEPUTS(IU,ND,DD)	実数 (倍精度) を実数 (単精度) に変換して書き込む。
FEGETS(IU,ND,DD)	実数 (倍精度) を実数 (単精度) から変換して読み込む。
FEPUTL(IU,ND,RD)	実数 (単精度) を実数 (倍精度) に変換して書き込む。
FEGETL(IU,ND,RD)	実数 (単精度) を実数 (倍精度) から変換して読み込む。
FESKP1(IU,ND)	1 バイトの変数をスキップする。
FESKP4(IU,ND)	4 バイトの変数をスキップする。
FESKP8(IU,ND)	8 バイトの変数をスキップする。

3 サブルーチンの説明

3.1 FEPUTC

1. 機能

文字列を書き込む.

2. 呼び出し方法

FHPUTC(IU,ND,CD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	CD の大きさ.
CD	(C*(ND))	書き込む文字列.

3.2 FEGETC

1. 機能

文字列を読み込む.

2. 呼び出し方法

FHGETC(IU,ND,CD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	CD の大きさ.
CD	(C*(ND))	読み込む文字列.

3.3 FEPUTI

1. 機能

整数を書き込む.

2. 呼び出し方法

FHPUTI(IU,ND,ID)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	ID の大きさ.
ID	(I(ND))	書き込む整数型配列.

3.4 FEGETI

1. 機能

整数を読み込む.

2. 呼び出し方法

FHGETI(IU,ND,ID)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	ID の大きさ.
ID	(I(ND))	読み込む整数型配列.

3.5 FEPUTR

1. 機能

実数 (単精度) を書き込む.

2. 呼び出し方法

FHPUTR(IU,ND,RD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	RD の大きさ.
RD	(R(ND))	書き込む実数型配列.

3.6 FEGETR

1. 機能

実数 (単精度) を読み込む.

2. 呼び出し方法

FHGETR(IU,ND,RD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	RD の大きさ.
RD	(R(ND))	読み込む実数型配列.

3.7 FEPUTD

1. 機能

実数 (倍精度) を書き込む.

2. 呼び出し方法

FHPUTD(IU,ND,DD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	DD の大きさ.
DD	(D(ND))	書き込む倍精度型配列.

3.8 FEGETD

1. 機能

実数 (倍精度) を読み込む.

2. 呼び出し方法

FEGETD(IU,ND,DD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	DD の大きさ.
DD	(D(ND))	読み込む倍精度型配列.

3.9 FEPUTS

1. 機能

実数 (倍精度) を実数 (単精度) に変換して書き込む.

2. 呼び出し方法

FEPUTS(IU,ND,DD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	DD の大きさ.
DD	(D(ND))	書き込む倍精度型配列.

3.10 FEGETS

1. 機能

実数 (倍精度) を実数 (単精度) から変換して読み込む.

2. 呼び出し方法

FEGETS(IU,ND,DD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	DD の大きさ.
DD	(D(ND))	読み込む倍精度型配列.

3.11 FEPUTL

1. 機能

実数 (単精度) を実数 (倍精度) に変換して書き込む.

2. 呼び出し方法

FHPUTL(IU,ND,RD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	RD の大きさ.
RD	(R(ND))	書き込む実数型配列.

3.12 FEGETL

1. 機能

実数 (単精度) を実数 (倍精度) から変換して読み込む.

2. 呼び出し方法

FHGETL(IU,ND,RD)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	RD の大きさ.
RD	(R(ND))	読み込む実数型配列.

3.13 FESKP1

1. 機能

1 バイトの変数 (文字) をスキップする.

2. 呼び出し方法

FESKP1(IU,ND)

3. パラメーターの説明

IU	(I)	入出力装置番号.
ND	(I)	スキップする変数の個数 (大きさ).

3.14 FESKP4

1. 機能

4 バイトの変数 (整数, 実数) をスキップする.

2. 呼び出し方法

FESKP4(IU,ND)

3. パラメーターの説明

IU (I) 入出力装置番号.

ND (I) スキップする変数の個数 (大きさ).

3.15 FESKP8

1. 機能

8 バイトの変数 (倍精度実数) をスキップする.

2. 呼び出し方法

FESKP8(IU,ND)

3. パラメーターの説明

IU (I) 入出力装置番号.

ND (I) スキップする変数の個数 (大きさ).